

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名	ITEA 卵白アルブミン (OVA) ELISA キット (抗体固相化済)
	ITEA スギ花粉アレルギー (Cry j 1) ELISA キット (抗体固相化済)
	ITEA ダニアレルギー (Der f 1) ELISA キット (抗体固相化済)
	ITEA ダニアレルギー (Der p 1) ELISA キット (抗体固相化済)
	ITEA ダニアレルギー (Der f 1) 高感度 ELISA キット (抗体固相化済)
	ITEA ダニアレルギー (Der f 2) ELISA キット (抗体固相化済)
	E. 反応停止液 (0.5 M 硫酸)
	F. 反応停止液 (0.5 M 硫酸)

製品コード 10203、10204、10205、10206、10207、10208

会社情報

会社名	ITEA 株式会社 東京環境アレルギー研究所
担当部署	品質管理部
住所	〒113-0001 東京都文京区白山 1-33-18 白山 NT ビル
電話番号	03-3526-2031
Fax 番号	03-3526-2032
電子メールアドレス	reag-info@itea.jp
緊急連絡電話番号	03-3526-2031

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	研究用試薬
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する。

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (呼吸器系)

環境に対する有害性

分類できない

GHS ラベル要素 絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器系の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

注意書き

[安全対策]

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置]

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

[保管（貯蔵）]

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性 情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器系の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
硫酸	7664-93-9	1-430	4.68
精製水	7732-18-5	-	95.32

特記事項

硫酸は、濃度が10%以下であるため劇物には該当しない。

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

大量の水で洗うこと。異常が生じた場合には、直ちに医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

予想される急性症状

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

呼吸器系の障害のおそれ

遅発性症状の最も重要な徴候症状

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

本製品は不燃性であるが、周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響を与える可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

保護具を着用し、危険でないことを確認した後漏れを止める。
少量の場合、ウエス、雑巾等でよく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。
大量の場合、盛土等で囲って流出を防止する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱注意事項	容器を転倒させたり、衝撃を与える等の粗暴な取り扱いはしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
接触回避	直射日光、高温を避ける。 酸化剤、還元剤等との接触を避ける。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策	保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
-------	---

混触禁止物質	酸化剤、還元剤等
保管条件	直射日光を避け、冷暗所に保管する。
容器包装材料	ガラス、高密度ポリエチレン

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的指標)

ACGIH TLV-TWA (2018)	0.2 mg/m ³ (硫酸)
ACGIH TLV-STEL (2018)	該当しない
日本産業衛生学会 (2017)	1 mg/m ³ (硫酸)

設備対策

高温下やミストが発生する場合は換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて防毒マスク(亜硫酸用ガス用)を着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて安全帽、保護衣、保護エプロン、安全靴等を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観 (物理化学的状態、形状、色など)	無色透明液体
臭い	無臭
臭いの閾値	情報なし
pH	情報なし
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	情報なし
溶解度	水に混和する。
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
------------	-------------------

危険有害反応可能性	通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	直射日光、高温
混触危険物質	酸化剤、還元剤等
危険有害な分解生成物	火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

11 有害性情報

製品の有害性情報

情報なし

成分の有害性情報

硫酸

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ = 2,140 mg/kg
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	ラット 4 時間 LC ₅₀ = 0.375 mg/L
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	濃硫酸の pH は 1 以下であることから、GHS 分類基準に従い腐食性物質と判断された。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ヒトでの事故例では前眼房の溶解を伴う眼の重篤な損傷が認められたとの記述、ウサギの眼に対して 5%液で中等度、10%液では強度の刺激性が認められたとの記述がある。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	ヒトでの低濃度の吸入ばく露では咳、息切れなどの気道刺激症状が認められており、高濃度ばく露では咳、息切れ、血痰排出などの急性影響のほか、肺の機能低下および繊維化、気腫などの永続的な影響が認められたとの記述およびモルモットでの 8 時間吸入ばく露で肺の出血および機能障害が認められた。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	ラットでの 28 日間吸入ばく露試験では区分 1 のガイダンス値範囲で喉頭粘膜に細胞増殖が認められ、モルモットでの 14～139 日間反復吸入ばく露試験では区分 1 のガイダンス値範囲内の濃度で鼻中隔浮腫、肺気腫、無気肺、細気管支の充血、浮腫、出血、血栓などの気道および肺の障害が、さらに、カニクイザルでの 78 週間吸入ばく露試験では、肺の細気管支に細胞の過形成、壁の肥厚などの組織学的変化が、区分 1 のガイダンス値の範囲の用量（0.048 mg/L、23.5 Hr/Day）で認められた。

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

成分の環境影響情報

硫酸

水生環境急性有害性	魚類 (ブルーギル) 96 時間 LC ₅₀ = 16~28 mg/L
水生環境慢性有害性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 消石灰等で中和してから、関連法規制に従って廃棄する。
 適切な処理施設がない場合には、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した上、リサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (ADR/RID の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送 (IMO の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
IBC コード	該当しない

航空輸送 (ICAO/IATA の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない

航空規制情報

該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

労働基準法	疾病化学物質（硫酸）
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（硫酸）（1重量%以上を含有する製剤その他の物） 特定化学物質第3類物質（硫酸）（含有する製剤その他の物。ただし、含有量が重量の1%以下のものを除く。） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（硫酸）（1重量%以上を含有する製剤その他の物）。
大気汚染防止法	特定物質（硫酸）排気
水質汚濁防止法	指定物質（硫酸）
海洋汚染防止法	有害液体物質（Y類物質）（硫酸）
航空法	腐食性物質（硫酸）（濃度が51質量%以下のもの）
船舶安全法	腐食性物質（硫酸）（濃度が51質量%以下のもの）
港則法	その他の危険物・腐食性物質（硫酸）（濃度が51質量%以下のもの）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項（硫酸及び発煙硫酸）
化学物質排出把握管理促進法	非該当

16 その他の情報

参考文献

ITEA 株式会社 東京環境アレルギー研究所保有資料

NITE GHS 分類結果一覧（2018）

日本産業衛生学会（2017）許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2018) TLVs and BEIs.

【注意】 本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等があった場合には適宜改訂を行います。また、注意事項等は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

作成日 2018年11月9日

改訂日 2024年4月19日

ver2024_2.0